

## Topics I 東北

# 地区防災計画制度が地域づくりのきっかけに

澤田 雅浩 長岡造形大学

### 1. はじめに

2013年6月の災害対策基本法の改正によって、新たに地区防災計画制度が設けられた。これは阪神・淡路大震災以降進められてきた地域防災力強化の延長線上に位置づけられるものである。市町村が定める公助の役割が主体の地域防災計画とは異なり、地域主導で計画策定まで進めることができる枠組みで、その成果は地域防災計画に反映されることとなる。自主的に防災活動を進めてきた地域にとっては、これまでの活動やルールが、公的に位置づけられる可能性を秘めているという点で、防災の取り組みが普段のまちづくりへと展開されていく可能性を秘めているといえる。

### 2. 具体的な取り組みの状況

内閣府によってここ数年地区防災計画モデル地区が選定され、計画策定に向けた取組支援が進められている。東北支那管内にも被災経験を後世に残すことを目的として取り組む地区（岩手県大槌町安渡地区、宮城県石巻市上釜地区）や、100年前の大水害を後世に伝えつつ、将来の

防災対策へと展開しようとする地区（福島県桑折町半田地区）、そしてこれまでの自然災害でもきして被害はなかったものの、ふだんの地域づくりを意識しながら取組をはじめた地区（新潟県長岡市東神田三丁目）など、地域設定にも幅があるだけでなく、その目的も多様である。

### 3. きっかけとしての防災

防災に関する地域の取組は、住民の温度差が大きくなることもしばしばである。一方で普段のまちづくりへと展開していくきっかけとしては地域住民みんなに共通の問題であるという点で、比較的使いやすいたもいえる。地域のリスクをきちんと把握することはもちろんのこと、被害を軽減するためのさまざまな資源が地域内に存在していることを整理し、「レジリエンス」を高めていく取組へと展開できる可能性は高い。東北ではこの夏、河川氾濫などで大きな被害が発生している。自然災害はどのような場所にも起こりうる。地区防災計画制度が被害軽減の一助となり、普段のまちづくりへと展開していったほしい。

## Topics I 海外

# NYCゾーニング100周年イベント “Zoning at 100: A Symposium for the Future”

有田 智一 筑波大学 システム情報系社会工學域

本報は、2016年9月15日にニューヨーク市法律家協会（NYC Bar Association）で開催されたイベント“Zoning at 100: A Symposium for the Future”の報告である。今年New York Zoning Resolutionが1916年に施行されてから100周年にあたり、様々な企画がニューヨーク市で実施されている。

“Zoning at 100”は、ニューヨーク市都市計画局などが主催したゾーニング100周年記念シンポジウムであり、Carl Weisbrod氏（Director, New York City Department of City Planning, Chairman of New York City Planning Commission）とProfessor Jerold S. Kayden（Harvard University Graduate School of Design）の2名が共同議長を務めた、ニューヨーク市のゾーニングの起源、歴史、現在の課題、全米主要都市におけるゾーニング運用事例の報告（シカゴ、ダラス、デトロイト、マイアミ、サンフランシスコ）、海外事例の報告（ロンドン、パリ、サンパウロ、東京）、ゾーニングとプランニングの関係性、ニューヨーク市の新たなゾーニング条例の必要性等のセッションが実施された。講演者はBill de Blasioニューヨーク市市長をはじめ、ニューヨー

ク市都市計画局責任者、建築家、プランナー、法律家、都市計画委員会委員、NYCランドマーク保存委員会委員、不動産関連会社代表など、総勢31名のゾーニングに関わる専門家が参加し、活発な討議が行われた。日本からは東京の事例報告者として蓑原敬氏が招待された。東京の市街地形成経緯を踏まえた日本のゾーニングの発展やニューヨーク市のプラザボーナスが導入された状況等について報告された。

前日（9月14日）には、ニューヨーク市内のBronx, Brooklyn, Manhattan, Queens とStaten Islandの5地区の将来についてDepartment of City Planning Borough Directorsの5名が討議するイベントがアメリカ建築家協会ニューヨーク支部で開催され、こちらにも蓑原氏と有田が参加した。



講演中の  
蓑原敬氏